



社協 はしま

発行所/社会福祉法人 羽島市社会福祉協議会 〒501-6255 羽島市福寿町浅平3丁目25番地 (福祉ふれあい会館内)
TEL058-391-0631 FAX058-391-0632

児童センターの行事を紹介!

あじさいとちぎり絵作り



がりんとうさんとあそびまSHOW



気球と動物のモービル作り



つみきハウスのフォトスタンドづくり



No.
223
2021.7.1
隔月発行

紹介 P2・3

・救急医療情報キットを配付中

紹介 P4

・福祉協力校活動紹介
正木小学校の福祉教育

紹介 P5

・羽島市で見つけた地域のお宝 ほか

紹介 P6

・高齢者の介護に関するお役立ち情報

紹介 P7

・児童センターだより

募集 P10

・ふれあいインフォメーション

救急医療情報キットを配付中

希望者に 無料で配付

羽島市地域包括支援センターでは、希望する独居高齢者世帯等に対し、救急時に必要な医療情報を補完する救急医療情報キット（以下「情報キット」）を無料で配付しています。

市内では既に情報キットを民生委員を通して配付している地区があり、現在も活用されています。

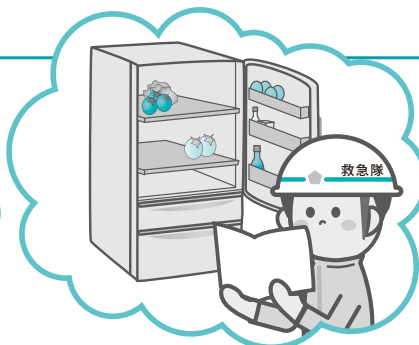
情報キットの中には自分の生年月日や緊急連絡先、服用している薬などを記載する用紙が入っています。それをあらかじめ記載して保管しておくことで、救急隊員等が活用しやすいため、救命活動時に役立ちます。

情報キットの使い方や、申請方法等についてまとめましたのでご紹介します。

高齢者が室内で倒れているところを発見できても、本人に意識がない場合、どんな処置を施せばいいかわからないことがあります。

そんな時、救急隊員等が情報キットの中身を確認して迅速な救命活動等ができるよう備えておくものです。

どんなときに活用されるの？



情報キットの中身は？



保管容器

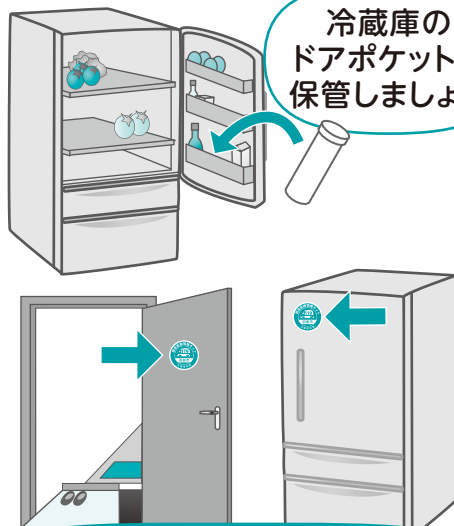
マグネット

ステッカー

救急医療情報シート

○この他、健康保険証やお薬手帳の写しなどを一緒に入れておきましょう。

使い方は？



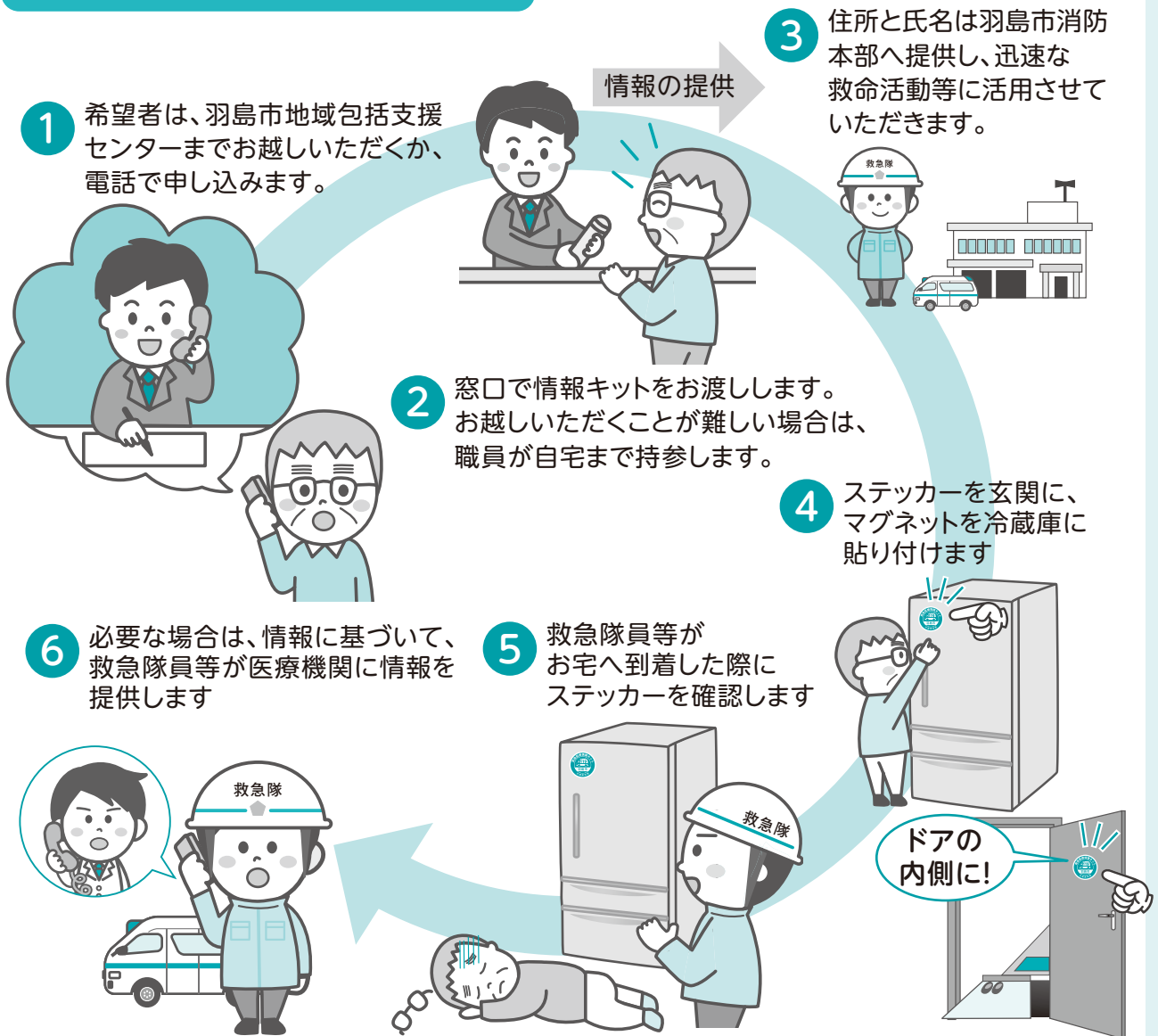
冷蔵庫のドアポケットに保管しましょう

救急隊員等が見つけやすいように、ステッカーとマグネットを分かりやすい位置に貼ってください

対象世帯は？

市内在住で、① 65歳以上のひとり暮らし世帯、② 65歳以上の高齢者のみの世帯、③ 日中に①または②の状況になる世帯の方です。

申請から利用までの流れ



情報の更新を お願いします

救命活動時に情報キットの中の情報シートの内容を参照して、医療処置を施すことがあります。そのため、記載情報が誤っていたり、古い情報だったりすると大変危険ですので、常に情報を最新のものにしておいてください。

既に情報キットを利用している方は、一度確認してください。

つながりを保つために

昨今は、新型コロナウイルス感染症を防ぐため、人と人との接触を減らすことが求められています。

その中でも、町内の方が情報キットを配付しながら、高齢者の様子を確認している地区があります。

このように、情報キットはつながりを保つためのツールとしても使われています。

【お問い合わせ】

羽島市地域包括支援センター (羽島市福祉ふれあい会館1階)
TEL 394-2521 FAX 394-2522

正木小学校の福祉教育

羽島市立正木小学校

正木小学校では、4年生の総合的な学習の時間に社会福祉協議会と連携して福祉教育を実践しています。

本校の福祉学習のテーマは、「共に生きる」です。体験や活動を通して、体の状態や環境が異なる人たちと共に生きるために、自分ができることは何かを考えることに重点をおきながら学習を進めています。

今年度の実践はこれからのので、昨年度の実践を紹介しします。

高齢者疑似体験 セツトを着用して

体験セツトを着用して、階段を上り下りしたり、文字を書いたりする活動を通して、お年寄りの方は自分たちと比べて体のさまざまな部分に不自由さを感じ

ていることを実感することができました。

「教科書のページをうまくめくれなくて大変だった」「膝が曲がりにくくて階段を降りるのが怖かった。次におばあちゃんに会ったときは、優しく声をかけて助けてあげたい。」などの感想がありました。



▲階段はゆっくりね

車椅子と白杖体験

介助用車椅子に座り、介助役の子童が車椅子を押しながらスロープを降りたり、玉入れをしたり、自動販売



▲坂道を登りますよ

機のスイッチを押したりしました。子どもたちは、小さな段差が大きな衝撃となつて怖い思いをすることや、普段何気なく押すスイッチが車椅子に乗ったままでは届かない高さにあることに気づきました。

アイマスクを装着して行った白杖体験では、どこに階段があるのか不安になったり、顔や足元付近の障害物にぶつかって危険な目にあつたりしました。

歩きなれた場所でさえも不安や不便さを感じた一方で、介助者の一言やサポートの存在で安心感を得ることができました。

「目が不自由な人には、『階段がありますよ』ではなく、『二歩前に階段がありますよ』と言ったほうが伝わりやすいと分かった」「一人で車椅子に乗っている人を見たら、『お手伝いしましょうか』と声をかけていきたい」という感想がありました。

また、点字ブロックの存在を知り、地域にある点字ブロックに目を向けたり、



▲頭の上に気をつけて！

自転車等を置かないように心がけたりする児童も見られました。

パラリンピック競技 ボッチャ体験

車椅子に座って肘を固定した状態で競技しても楽しめることが分かり、もっとやってみたい、パラリンピック選手の技を見てみたいという声が挙がりました。延期してしまつた東京パラリンピックですが、障がい者スポーツへの興味を高めるきっかけになりました。



▲ボッチャは誰でもできるね

今年度も、福祉学習を通して自己の生き方を見つめる指導を継続していこうと思ひます。

羽島市で見つけた地域のお宝

地域には、自然発生的な人と人とのつながりや支え合いが存在しています。羽島市社会福祉協議会では、これを「**地域のお宝**」と呼んでいます。このお宝が持つ意味を考え、今のつながりを維持することの大切さを意識することで、地域の支え合いに位置づけることができます。

竹鼻町で発見！！「コスモパーク羽島でラジオ体操」

364日（元旦以外）、体操を行っています。6時30分から、ラジオ放送に合わせてラジオ体操をし、その後、気功の一種である十八練功などを行い、7時頃に終わります。

発起人である黒田さんが、「ひとりでラジオ体操を続けるのは難しいと思い、知人に声をかけて2人で始めた」とお話しされるこの取り組みは、今年で10年目に入ります。口コミで参加人数は増え、毎回15名程の参加があります。

参加されている方は、「これがあるから元気でいられる」「病気がちで、最初は時々しか参加できなかったけど、今は毎日のように参加できるようになった」と笑顔でお話してくださいました。



自身の健康づくりはもちろんですが、おしゃべりをしたり、メンバーの岩田さんから、参加のお駄賃として飴をいただいたり、散歩中の犬とふれあったりする、この時間がぎっと楽しかったり、継続して参加する源になったりしているんだろうなと思いました。

また、「まだ〇〇さん来ていないね」「気をつけて帰ってね」といった声が聞こえ、気にかけてくれる関係があり、とても素敵な取り組みだと思いました。



生活支援
コーディネーター

教えて！

ボランティアセンターのコト

ボランティアクイズにチャレンジ！ ～あなたはどこまで知ってる？～

問題：大雨等による水害が発生した場合の、ボランティア活動について正しい記述はどれ？

- ①震災による被害を受けたときと同じ服装・道具で活動する
- ②災害ボランティアセンターが開設しているか確認してから現地に向かう
- ③ボランティア活動中、暴風警報が発令されたら活動を切り上げる

答えは？

ボランティア活動に出向く前に、災害ボランティアセンターの開設状況を確認しましょう。また、募集範囲や服装等についても確認しましょう。

警報の発令の有無に関わらず、センターから活動中止指示があったら従いましょう。

よって、**正解は②**となります。

参考：政府広報オンライン

高齢者の介護に関するお役立ち情報

「認知症高齢者等あんしん補償事業」のご案内

内容

認知症や療育手帳等所持者が損害賠償責任を負った場合に、1億円を上限として賠償金の全額または一部が補償されます。

(例：線路上を徘徊し、電車を止めてしまった等)

利用料金

無料をご利用いただけます。



対象者

見守りSOS事業の利用者が対象になります。

*見守りSOS事業とは…

利用者へ見守りSOSシールを交付し、台帳で管理することで徘徊した時に発見から親族への連絡までを円滑化するものです。

*見守りSOS事業の対象者は…

在宅(市内)で生活しており、徘徊や1人で出歩いて危険が及ぶ恐れのある方で下記のいずれかに該当する方

- ・成年後見制度を利用している方
- ・医師により認知症と診断された方または認知症の疑いのある方
- ・身体障害者手帳1級(総合等級)
- ・療育手帳A、A1、A2
- ・精神障害者保健福祉手帳1級

申請時にチェックシートの記入あり

ちょっと注意しなければいけない点

- ・認知症高齢者等あんしん補償事業は、見守りSOS事業の利用者で保険加入を希望された方が対象になります。
- ・見守りSOS事業および認知症高齢者等あんしん補償事業の申請窓口は羽島市役所高齢福祉課です。
- ・事業についてのご相談は、地域包括支援センターでもお受けします。

地域包括支援センターでは、高齢者のみなさんの介護、健康や福祉、医療に関するご相談を受け付けています。
お気軽にお電話ください!!



羽島市地域包括支援センター

(高齢者総合相談センター)

☎394-2521

羽島市福祉ふれあい会館1階



夏休み講座

夏休みクラフト講座

- 【日時】 8月3日(火)13:30~15:30
 【場所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階
 【内容】 和紙でランプシェード作り
 【対象】 小学1~中学3年生 【定員】18人
 【参加費】 300円
 【申込期間】 7月6日(火)~17日(土)



お申し込みについて

開館時間内に、各専用申込用紙に記入して児童センターの申込箱に入れてください。
 定員以上の申し込みがあった場合は、公開抽選を行います。

はっぴーサロンコーナー

「7月・8月の行事予定」

- ★健康チェック
7月1日(木)・8月5日(木)10:30~11:30
- ★みんなDeくらふと
7月2日(金)・7日(水)・8月6日(金)
10:30~11:30
- ★お誕生日手形スクラップブックorフィンガープリントキーホルダー
(7月生まれ)7月9日(金)10:30~11:30
(8月生まれ)8月25日(水)10:30~11:30
- ★読み聞かせ講座 かりんとうさんとあそびまSHOW
7月15日(木)10:30~11:30
- ★おもちゃ病院(おもちゃの修理をしています)
7月21日(水)・8月18日(水)10:00~12:00

※行事は全て予約制になりました。変更・中止になる場合もありますので、ホームページでご確認ください。
 将来、子育て支援活動に携わりたい方も見学(体験)していただけます。お気軽にお問い合わせください。

家にある
もので

「ふうりん」作りに挑戦しよう!!

(ペットボトルの代わりに紙コップやプリンカップでもできます)

準備するもの

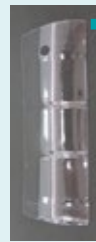
- ・500mlペットボトル
- ・はさみ ・ひも
- ・鈴 (あれば) ・きり
- ・つまようじ
- ・マジックやシールなど

①ペットボトルを好きな大きさに切り、フタ(または底)の中心に穴をあける



※穴をあける時は、大人の人に手伝ってもらおう!

②残りのペットボトルで、短冊を作る。(片側に穴をあける)

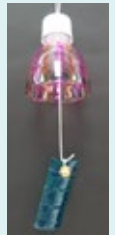


※切り口で手などを切らないように気を付けよう!

③①と②にマジックなどで模様をつける。



④①、つまようじ、鈴、②の順にひもを通してできあがり! つまようじは、ひものすり抜け防止です。



はしま子育て支援チームの活動

「子育て講座」

- 【日時】 7月28日(水)10:30~11:30
 【場所】 羽島市福祉ふれあい会館 2階
 【講師】 三神廣子先生

お問合せ: ☎090-3447-8082(馬場)

お気軽にご参加ください。

※8月は、お休みさせていただきます。

※新型コロナウイルス感染症防止につき、掲載行事を延期または中止する場合がありますので、ご了承ください。変更がある場合は、児童センターホームページでお知らせします。

お申し込み・お問い合わせは

羽島市児童センター (羽島市福祉ふれあい会館4階)

☎391-1226 FAX391-1622

e-mail: jidokan@hashima-shakyo.or.jp

インターネットURL <http://hashima-shakyo.or.jp/jidokan/>

休館日: 毎週月曜日、第1・3日曜日、祝日

議会事業報告・決算

共同募金配分金などで下記の事業を実施しました。（主な事業を抜粋）

地域福祉活動の推進並びに要支援世帯等の福祉の向上

- ふれあいサロン活動の支援
(延べ参加者数 620名)
- ふれあい訪問活動の推進
(延べ訪問件数 4,625件)
- 生活福祉資金貸付事業への協力
(新規相談件数 794件)
(貸付決定件数 530件)
- 支部社協メニュー事業助成金の交付
(助成件数：6支部)
- 年末年始事業配分金の交付
(助成件数：5団体等)
- 介護予防のための通いの場への側面的支援
- 就学援助等を受けている世帯の小中学生を対象とした学習支援
- 社会福祉委員の役割を見直しに向けた調査
- 第4期羽島市地域福祉活動計画の策定
- 地域での自然発生的な人と人とのつながりや支え合いの紹介

福祉サービス等の適切な利用のための支援

- 地域包括支援センター事業
 - ・介護予防ケアマネジメント費の請求
(延べ件数 1,573件)
 - ・介護予防支援費の請求 (延べ件数 2,767件)
 - ・高齢者等に関する総合的な相談の実施
(延べ件数 3,865件)
 - うち、権利擁護に関する相談 (延べ件数 26件)
 - うち、認知症に関する相談 (延べ件数 32件)
- 福祉に関する総合的な相談の実施
(新規相談件数 818件)
- 判断能力が低下した人への福祉サービス利用支援
(延べ支援回数 126回)

広報・啓発活動

- 広報紙「社協はしま」の発行 (隔月発行)
- ホームページの運営
- 社会福祉大会の開催 (表彰のみ)
- ポスター「社協情報」の発行

福祉教育の推進

- 福祉に関する教育への協力
 - ・授業等への協力 (延べ協力数 17校)
 - ・福祉体験機器の貸し出し (延べ貸出数 19回)

ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターへの登録の推進
(延べ登録者数 2,407名)
- ボランティア活動に関する相談・調整
(延べ相談件数 13件)
- ボランティア活動保険等への加入促進
 - ・ボランティア活動保険 (加入者数 1,768名)
 - ・ボランティア行事用保険 (加入件数 21件)
- ボランティアグループへの助成 (助成件数 1件)
- 障がい者福祉施設と地域住民が交流する場の支援
- 行政との災害ボランティアセンター設置等に関する協定の締結に向けた調査
- キャンペーン「知らんぷりしないで、関わろう」の実施

在宅福祉サービスの提供

- 居宅介護支援事業
 - ・要介護者ケアプラン作成 (延べ作成件数 1,436件)
 - ・要支援者ケアプラン作成 (延べ作成件数 160件)
- 福祉機器の貸出事業 (延べ貸出数 46件)
- 福祉車両の貸出事業 (延べ利用数 49件)

通所施設の運営

- 発達支援センター「発達教室もも」事業
(児童発達支援)
(延べ通所児数 3,165名)
- 発達支援センター「相談室もも」事業
(障害児相談支援・ことばと発達に関する相談)
(延べ外来相談回数 574回)
- 児童センター事業 (延べ利用者数 9,390名)
- 地域子育て支援拠点事業の受託実施
(延べ利用者数 6,921名)

令和2年度

羽島市社会福祉協

市民の皆様からの会費や寄付金、

資金収支計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日 (単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	会費収入	13,521,000	13,521,200	△ 200
	寄附金収入	1,212,000	1,505,528	△ 293,528
	経常経費補助金収入	25,692,000	25,394,617	297,383
	受託金収入	1,205,000	1,210,000	△ 5,000
	事業収入	298,000	255,600	42,400
	負担金収入	699,000	438,050	260,950
	介護保険事業収入	93,943,000	92,840,288	1,102,712
	児童福祉事業収入	17,334,000	17,095,050	238,950
	障害福祉サービス等事業収入	44,179,000	47,637,421	△ 3,458,421
	受取利息配当金収入	47,000	40,511	6,489
	その他の収入	10,905,000	10,905,770	△ 770
	事業活動収入計(1)	209,035,000	210,844,035	△ 1,809,035
	支出			
	人件費支出	184,552,000	179,904,302	4,647,698
事業費支出	7,748,000	3,802,258	3,945,742	
事務費支出	34,620,000	28,140,665	6,479,335	
助成金支出	13,895,000	9,937,621	3,957,379	
負担金支出	81,000	17,000	64,000	
支払利息支出	42,000	41,477	523	
その他の支出	2,000	0	2,000	
法人税、住民税及び事業税支出	2,056,000	1,984,000	72,000	
事業活動支出計(2)	242,996,000	223,827,323	19,168,677	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 33,961,000	△ 12,983,288	△ 20,977,712	
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	支出			
	固定資産取得支出	1,515,000	1,481,720	33,280
	ファイナンス・リース債務の返済支出	844,000	843,691	309
施設整備等支出計(5)	2,359,000	2,325,411	33,589	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,359,000	△ 2,325,411	△ 33,589	
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	14,111,000	14,109,850	1,150
	その他の活動による収入	19,610,000	19,609,050	950
	その他の活動収入計(7)	33,721,000	33,718,900	2,100
	支出			
	積立資産支出	1,448,000	1,422,040	25,960
	その他の活動による支出	6,254,000	6,157,080	96,920
	その他の活動支出計(8)	7,702,000	7,579,120	122,880
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	26,019,000	26,139,780	△ 120,780
	予備費支出(10)	0	0	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 10,301,000	10,831,081	△ 21,132,081	
前期末支払資金残高(12)	64,968,000	64,973,626	△ 5,626	
当期末支払資金残高(11)+(12)	54,667,000	75,804,707	△ 21,137,707	

事業活動計算書

(自) 令和 2年 4月 1日 (至) 令和 3年 3月 31日 (単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	13,521,200	14,250,000	△ 728,800
	寄附金収益	1,505,528	869,995	635,533
	経常経費補助金収益	25,394,617	25,166,587	228,030
	受託金収益	1,210,000	1,075,000	135,000
	事業収益	255,600	272,300	△ 16,700
	負担金収益	438,050	589,300	△ 151,250
	介護保険事業収益	92,840,288	95,198,424	△ 2,358,136
	児童福祉事業収益	17,095,050	16,415,800	679,250
	障害福祉サービス等事業収益	47,637,421	46,430,984	1,206,437
	その他の収益	9,578,643	18,471,176	△ 8,892,533
	サービス活動収益計(1)	209,476,397	218,739,566	△ 9,263,169
	費用			
	人件費	158,117,456	164,551,308	△ 6,433,852
	事業費	3,802,258	4,973,985	△ 1,171,727
事務費	28,140,665	27,796,340	344,325	
助成金費用	9,937,621	13,411,868	△ 3,474,247	
負担金費用	17,000	637,000	△ 620,000	
減価償却費	2,469,926	2,333,582	136,344	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 13,365	0	△ 13,365	
その他の費用	0	364,498	△ 364,498	
サービス活動費用計(2)	202,471,561	214,068,581	△ 11,597,020	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	7,004,836	4,670,985	2,333,851	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	40,511	55,062	△ 14,551
	その他のサービス活動外収益	1,327,127	578,977	748,150
	サービス活動外収益計(4)	1,367,638	634,039	733,599
	費用			
	支払利息	41,477	52,835	△ 11,358
	サービス活動外費用計(5)	41,477	52,835	△ 11,358
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,326,161	581,204	744,957
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	8,330,997	5,252,189	3,078,808
	特別増減の部			
特別収益				
特別収益計(8)	0	0	0	
特別費用				
固定資産売却損・処分損	0	1	△ 1	
国庫補助金等特別積立金積立額	423,720	0	423,720	
その他の特別損失	16,141	0	16,141	
特別費用計(9)	439,861	1	439,860	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 439,861	△ 1	△ 439,860	
税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	7,891,136	5,252,188	2,638,948	
法人税、住民税及び事業税(12)	1,984,000	50,000	1,934,000	
当期活動増減差額(13)=(11)-(12)	5,907,136	5,202,188	704,948	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(14)	48,112,462	42,910,274	5,202,188
	当期末繰越活動増減差額(15)=(13)+(14)	54,019,598	48,112,462	5,907,136
	基金/基本金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(17)	10,000,000	0	10,000,000
	その他の積立金積立額(18)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(19)=(15)+(16)+(17)-(18)	64,019,598	48,112,462	15,907,136

貸借対照表

令和 3年 3月 31日現在

(単位: 円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	118,773,757	122,457,149	△ 3,683,392	流動負債	50,393,011	64,632,592	△ 14,239,581
現金預金	58,007,914	43,419,324	14,588,590	事業未払金	3,744,063	2,573,997	1,170,066
預金	58,007,914	43,419,324	14,588,590	1年以内返済予定リース債務	855,202	843,691	11,511
事業未収金	26,366,411	26,974,709	△ 608,298	未払費用	37,170,837	54,678,411	△ 17,507,574
未収金	33,293,043	50,819,926	△ 17,526,883	職員預り金	0	101,565	△ 101,565
立替金	0	51,909	△ 51,909	前受金	70,150	79,550	△ 9,400
前払金	976,574	1,123,208	△ 146,634	賞与引当金	6,568,759	6,305,378	263,381
前払費用	129,815	68,073	61,742	未払法人税等	1,984,000	50,000	1,934,000
固定資産	279,381,965	305,164,871	△ 25,782,906	固定負債	78,232,758	99,776,966	△ 21,544,208
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	リース債務	1,745,574	2,600,776	△ 855,202
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	退職給付引当金	76,487,184	97,176,190	△ 20,689,006
その他の固定資産	278,381,965	304,164,871	△ 25,782,906	負債の部合計	128,625,769	164,409,558	△ 35,783,789
車輜運搬具	2,271,795	2,181,618	90,177	純資産の部			
器具及び備品	1,567,583	1,763,822	△ 196,239	基本金	100,000	100,000	0
有形リース資産	2,566,080	3,421,440	△ 855,360	国庫補助金等特別積立金	410,355	0	410,355
ソフトウェア	2,052	28,836	△ 26,784	その他の積立金	205,000,000	215,000,000	△ 10,000,000
退職手当積立基金預け金	53,075,590	66,527,560	△ 13,451,970	備品等購入積立金	26,500,000	26,500,000	0
退職給付引当資産	13,898,865	15,241,595	△ 1,342,730	財政調整積立金	157,500,000	167,500,000	△ 10,000,000
積立資産	205,000,000	215,000,000	△ 10,000,000	災害対策積立金	21,000,000	21,000,000	0
備品等購入積立資産	26,500,000	26,500,000	0	次期繰越活動増減差額	64,019,598	48,112,462	15,907,136
財政調整積立資産	157,500,000	167,500,000	△ 10,000,000	(うち当期活動増減差額)	5,907,136	5,202,188	704,948
災害対策積立資産	21,000,000	21,000,000	0	純資産の部合計	269,529,953	263,212,462	6,317,491
資産の部合計	398,155,722	427,622,020	△ 29,466,298	負債及び純資産の部合計	398,155,722	427,622,020	△ 29,466,298

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り、支援する「応援者」を養成します。



日時 8月25日(水) 13:30～15:00
8月29日(日) 9:30～11:00
※どちらも同じ内容での開催です。

会場 羽島市福祉ふれあい会館2階
地域ふれあいスペース

対象 羽島市在住または通勤・通学している方(高校生以上)

内容 認知症に関する基礎的な知識、認知症の人への対応方法などをDVDやテキスト、寸劇を交えて学びます。

定員 各回15名(申込順)

受講料 無料

申込締切 8月20日(金)

申込方法 本センターへお越しになるか、または電話にて申込みください。

備考

- ・受講された方にはサポーターの証として「認知症サポーターカード」をお渡しします。
- ・講座終了後、「成年後見制度入門講座」も30分程度実施しますので、ぜひご参加ください。なお、入門講座のみの参加も可能です。

お問い合わせ・お申し込み先
羽島市地域包括支援センター
☎394-2521 FAX 394-2522
8:30～17:15(土日祝日除く)

ありがとう！
あったかハート

◆本会への寄付(順不同・敬称略)

コンコルド777 岐阜羽島
駅前店、東洋羽毛東海販売
株式会社、匿名2件

(4月16日から6月15日まで)

申込方法 本会事務局へお越しになるか、または電話にて申込みください。
申込締切 8月20日(金)

福祉活動専門員

(正規職員)

採用日 令和4年4月1日
応募資格 平成4年4月2日以降に

生まれた大学卒業以上の学



介護サービス相談員

定期的に、高齢者福祉施設を利用していらっしゃる方の話をじっくり聞き、内容に応じて施設職員や事務局へ橋渡

歴を有する方(令和4年3月卒業見込みを含む)で、社会福祉士資格(取得見込み可)と自動車運転免許を有する方
※詳細は、本会ホームページまたは電話にてお問い合わせください。

しをする介護サービス相談員を募集します。
人員 1名
任期 養成研修終了後2年間(更新あり)
活動回数 毎月1～2回程度(1回2～3時間)
応募資格 次のすべての要件を満たす人

備考 後日、面接を行います。
応募締切 7月23日(金)
応募方法 専用申込書(要事前入手)を本会まで提出してください。なお、申込書は本会ホームページからもダウンロードできます。

介護予防ボランティア養成講座

自分が住む地区などで、介護予防の場を立ち上げ、

運営する人を養成することを目的に開催します。

対象 介護予防の場の設置に向けた話し合いや運営に携われる方
実施日 8月27日～10月15日
毎週金曜日(全8回)
時間 13時30分～15時30分

会場 羽島市福祉ふれあい会館
申込方法 本会事務局へお越しになるか、または電話にて申込みください。